

ダム受け入れ表明に対する抗議文

五木村長 木下 丈二 様

4月21日、村長は五木東小体育館で行われた村民集会で、集まった村民の前で、穴あき型の川辺川ダム建設受け入れを表明されました。

私達は、このことに強く抗議し、この表明を撤回されることを求めます。

そもそも、村長のこのダム受け入れ表明は、五木村民の意思に基づいたものではなく、村長の個人的な考えを表明されたものにしかすぎません。

本来であるならば、このような村の将来を左右する重大な件に関しては、事前に村民に諮り、時間をかけて審議し、その村民の話し合いの結果を踏まえて、判断すべきものです。

このような手続きを踏まえていない、村長の表明は村の正式な決定でも何でもありません。

村長の表明の中には、ダム建設を受け入れないと国や県の振興策が実現しないと言う考えがあるように思えますが、村がダムを受け入れようが受け入れまいが、国、県は五木村の振興には責任をもってあたるべきだと言うのが村の基本的な立場ではないでしょうか。

しかも昨年5月、熊本県はダムを前提としない振興策を本村に示しています。

ダム建設の受け入れと村の振興策は切り離されたはずですが、ダムを受け入れないと村の振興策は図られないと言う間違った考えに村長はとらわれているように思います。

それとも国や県からダムを受け入れないと振興策は実行しないと言う話でもあったのでしょうか。

村の振興と切り離せば、川辺川ダムは百害あって一利なしの迷惑施設です。村にとって何のメリットもないばかりか、下流域にも濁り水など迷惑千万です。

ダムが出来ますと、五木源パークやヴィラ ITSUKI などが使えなくなります。

昔ながらの頭地は消え、平場は無くなり、川で泳ぐことも出来なくなります。

日本一の巨大なダムなど要りません

今の環境を維持して、日本の古里のイメージを五木村に残せば、五木の山、川に魅かれた人たちが日本中から押し寄せてきます。

私たちは、ダムなどない方がよい。

歴史のある自然豊かな五木村を未来に残したい。

そう言う気持ちで、本日ここに、この抗議文を提出します。

以上

2024年5月17日

村民有志 13名